

花と緑の銀行だより

186号 2013.1



「平成24年度コンテナガーデンコンテスト」：コンテナガーデン大賞（高岡支店西広谷地方銀行）
「棚田にさく花盛」

目次

- ・花と緑の提言（花と緑の銀行 名誉会長 石井隆一）……………2
- ・活動事例〈地域に広がる、絆の深まる花のまちづくりを目指して（射水支店）〉…3
- ・写真コーナー〈平成24年度 花のまちづくりコンクール〉……………4
- ・技術講座〈種まきから始めよう4〉……………5
- ・技術講座〈ステップアップ研修に参加して〉……………6
- ・この人あり〈私達の地域に、1株でも多くの花を！（高岡支店）〉……………7
- ・お知らせ……………7



新年のあいさつ

公益財団法人 花と緑の銀行
名誉会長 石井 隆 一

明けましておめでとうございます。
輝かしい平成25年の初春を皆様とともに
寿ぎたいと思います。

公益財団法人花と緑の銀行は昭和48年に
設立され、本年40周年を迎えます。

この間、花と緑の普及啓発や花と緑の指
導者・グループの育成、花壇づくりの推進
など、花と緑に包まれた美しい県土づくりに
積極的に取り組んでまいりました。

おかげをもちまして、県民の皆様による
地域ぐるみの緑化活動が活発に展開され、
県内各地の公園、学校、道路などが花と緑
で美しく彩られていることは大変喜ばしい
限りです。

これもひとえに、地域の先頭に立って活
動いただいている地方銀行頭取やグリーン
キーパーの皆様、そして県民の皆様の方
ならぬご支援、ご尽力の賜であり、心から
敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、北陸新幹線の開業を間近に控え、
県外から多数の方が訪れることが予想され
る中、花と緑にあふれる県づくりを一層進
めていく必要があります。

このため、県では平成24年4月に策定し
た「新・元気とやま創造計画」に基づき、
「富山県花と緑の新世紀プラン」につい
ても、新たに「花と緑の元気とやま推進
プラン」として改訂いたしました。この
プランでは「花と緑と人が輝く元気と
やまの創造」

を目標に、県民がうるおいと安らぎを感
じる、花と緑に満ちあふれる地域づくりに
進めることとしています。

花と緑の銀行としましても、「花と緑をす
すめる」、「花と緑をはぐくむ」、「花
と緑にふれあう」の3つの柱のもと、花
と緑の指導者の育成や花と緑のグループ
の活動支援など各種事業を積極的に展開
していくとともに、県内の観光拠点を花
と緑で彩る「おもてなしフラワー事業」
など、地域住民と協働しながら新たな課
題にも対応した取り組みをより一層推
進することとしています。

今後とも、美しく豊かな自然に恵まれ
た富山が、さらに花と緑に囲まれ、うる
おいと安らぎに満ちたふるさとになるよ
う積極的に取り組んでまいりたいと存じ
ます。皆様方の一層のご支援、ご協力
をお願い申し上げます。

終わりに、皆様方の今後ますますの健
康、ご活躍、ご多幸を心からお祈り申
しあげまして、新年のごあいさつといた
します。





地域に広がる、絆の深まる 花のまちづくりを目指して

射水市小杉花作り同好会
会長 佐野 武彦

射水市小杉地区は、射水市のほぼ中央に位置し、私たち同好会がメインに活動する歌の森運動公園西側花壇は市役所庁舎、図書館、文化ホールなどの公共施設が集中している小杉地区の中心部にあります。花壇の大きさは長さ80メートル、奥行き3メートルの細長い花壇で、背後に美しい立山を見ることができます。この花壇には全体で約120種類、約3,500本の花木が植栽されています。



同好会は平成11年に発足しました。花壇はその当時の会員が、歌の森運動公園グランドの一部を花壇にしてほしいと旧小杉町に強く要望した結果、花壇ができました。現在同好会の会員は35人です

が、全員が花と緑の銀行射水支店小杉支所の頭取・グリーンキーパーです。毎年、会員みんなで植栽計画を作り、計画に沿った花苗の選定や植付けをしています。水遣りや除草は当番制で、月1回の一斉作業では、生育状況をみながら全会員で話し合い、中耕・除草・花柄摘み等の作業を計画し、追肥・薬剤散布等の手入れも必要に応じて実施しています。

花壇周辺は小さな子供からお年寄りまで集まる憩いの場所になっているので、花壇の美しさ、楽しさに触れ合いながら癒しを感じることができるよう、ハーブも植栽した自然にマッチした花壇作りを心がけています。また、助成金頼りにならない自立した花壇作りを目指し、会員は、こぼれ種や宿根草の有効活用や自家製腐葉土・薫炭を作るなど経費削減に努力し、ここでのさまざまな作業で花と緑の情報交換を行い、栽培技術と意欲向上に繋げています。そして、会員がこの花壇で得られた経験と知識をもとに、地元の地区花壇で「花いっぱい運動」を実施し、花づくりを通して地域コミュニティー作りと子どもが多く参加する地域の世代間交流を行っています。

このような活動が評価されて、平成24年度第22回全国花のまちづくりコンクール団体部門において国土交通大臣表彰を受賞することができました。また、富山県花のまちづくりコンクールにおいても平成15年から3年連続で一般花壇の最優秀賞を受賞し、平成18年からは7年連続で推奨花壇の5つ星に認定され、会員の活動の大きな励みとなっています。

今後も、花づくりの技術や知識の向上を図るとともに、会員がリーダーとなって地域の花づくりの輪を広げ、花で絆が深まるよう努力していきたいと思っています。

平成24年度富山県花のまちづくりコンクール

学校花壇部門 最優秀賞
黒部市立若栗小学校



【審査講評】

エントランスは朝顔など蔓植物がからむアーチ状のトンネル。そこを抜けると、目の前に星形に広がるサルビア・スプレンドENSの赤い炎がゆらめいていました。中央には、子供の手のような葉をニョキニョキ出しながら「咲けよ、咲けよ」と蕾を押し上げ天をつくモミジバアオイ。花の開花を想像し豪勢な出会いを楽しんだ後、中に分け入りました。そこ、ここに表れるデザインの妙。みずみずしい子供の発想、アイデアが息づく花壇がありました。これらは、テーマ「四季折々の黒部の大自然」を表現するため円形花壇を4分割し、1年と6年、2年と5年、3年と4年という異学年集団で分担し合って構成されていました。虹と蝶を立体的に表した春花壇。シルバーリーフや白い花を雪山に見立てた冬花壇。赤い炎は黒部の太陽を表す夏花壇の象徴でした。5月初旬、親子・教師の畝作りから始まった花壇は、校舎の中庭に位置し、教室・廊下、運動場から子供たちに見守られ、最高に輝く時期を迎えていました。

(審査委員長 松原 宣昭)

一般花壇部門 最優秀賞
射水市 本江フラワー同好会



【審査講評】

花壇の特徴は“新しいことに挑戦しよう”という姿勢に端的に現れておりました。特に、日頃の管理が難しくなりつつある灌水の労力を軽減するため、水を節約しても生育に見劣りを来たさない節水栽培の方法を模索するとともに、堆肥は必ず2年間熟成したものを使うなどの努力によって今年のような厳しい条件下でもボリューム感あふれる花壇になっていたことは特筆に値する点でした。

さらに、宿根草と一年生草花の比率、栽培が難しいとされている花への挑戦やカラーバランスの組み合わせなどでも随所に新たな試みが見られたほか、花壇を核として人の輪が地域を中心に大きな広がりを見せるなど、総合的に高い評価が与えられました。

(審査委員長 名畑 清信)

幼稚園・保育所花壇部門 最優秀賞
氷見市 速川保育園



【審査講評】

以前からテーマを設定した花壇づくりに取り組まれ、今回はコキアを効果的に用いてネコバスの顔をきわだたせ、園児たちの描いた石のアートを周囲に配するなどメルヘンガーデンとして子供たちの興味をひくよう工夫が施されていました。暑さの中でも植物はよく管理されて生育も良好で、土づくりや花壇づくりなど父母と一緒の活動やシニアサポーター、保護者や地域の方々の手厚い支援もよくみてとれました。

(審査委員長 松下 真一郎)

花の道部門 最優秀賞
砺波市 高波花と緑の推進協議会



【審査講評】

テーマは「七色の虹花壇」で、長さ約500mの道路沿いに作られた13の植え込み柵の微妙な色相の違いを歩きながら楽しめるようになっていきます。間に配された30あまりの樽プランターも効果的です。古い農具や水生植物の水鉢などを使ってアクセントをつけ、圧巻は太い竹を使ったアーチにフウセンカズラを這わせて緑のカーテンを演出したものの。全体に多様な草花と低木を立体的に組み合わせる植栽し、緑豊かな田園風景を借景にした自然風の花壇になっていました。デザインと色彩を最初にしっかり描いて花壇設計していることが高く評価されました。テーマの虹色がよく出せていないところもあり花の選択など苦勞がしのばれました。グリーンキーパーが中心になって地域住民全体で連携して作業に取り組まれており、長年の経験と知恵を活かした見事な花壇になっていました。

(審査委員長 山田 信明)

自家採種した種子を育てる

松本美枝子

花壇では、花が終わると通常花柄を除去するので種はできませんが、開花盛期に花柄とりが追付かず、そのままにしておくと種子ができる場合があります。このようにして種子ができる品目としては、パンジー、ビオラ、ゼラニウム、シクラメン、プリムラ、ニチニチソウ、ワスレナグサ、ギボウシ、ツボサンゴ、シラン、クリスマスローズ等、数え上げるときがありません。しかし、これらのほとんどがF1品種なので、種を播いても、親と全く同じものができる保証はありません。

このことは、逆に、自分で交配して、自分だけの花を作ることができることを示しています。自分の好きな花同志（同一品目）を交配すると、素敵な花ができる可能性があります。但し、きれいな花の出現確率は比較的低いことをお忘れなく。

交配手順

基準品種の雌蕊（めしべ）に、取り込みたい特性を持つ品種の花粉を柔らかい筆に付けて交配します。開花後間もない花のめしべに、開葯直後の花粉を、午前中に交配します（同じ花に、3日程度繰り返し、交配する）。めしべを使う花のおしべは、開葯前に除去します。交配から採種までをプリムラを例に示しました。

「プリムラのタネとり」1 ～自分の花を作ってみよう～

- ① つぼみの間に雄ズイを除去
- ② ほかの花の花粉を使って交配する
- ③ 紙袋をかける
(ほかの花の花粉がかからないように)
- ④ 雌ズイの基部が膨らんで来たら花びら及び袋を除去
- ⑤ 雌ズイ基部の膨らみが茶色くなる

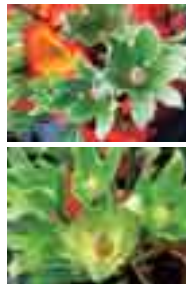


写真1 プリムラでのタネの採り方

「プリムラのタネとり」2

- ・種がはじける寸前に花梗の付け根から切り取り紙袋に入れ乾かす。



写真2 適切な採種時期

種子の休眠

種子は、十分に熟すると水分含量が少なくなり、代謝活性が抑制されます。この状態を休眠と言い、確実に発芽するための準備期間です。富山県では、種子が生産されて秋にすぐ発芽する種はほとんど無く、大半は冬の低温によって休眠打破してからでないと発芽しません。その後、発芽に適した条件が整った環境に置かれると、胚の肥大成長や発芽抑制物質（アブシジン酸など）が減少し、発芽促進物質（ジベレリン等）が増加します。なお、種子が発芽に適さない環境に置かれた場合、二次休眠に入り、その後発芽に適した環境に置かれても発芽できなくなることがあるので注意が必要です。

発芽方法

以下に、採種したクリスマスローズの播種について示します。

クリスマスローズは、採種した後、5～6月からは温度の高い（成熟促進）季節になるので、常温で湿度を保った状態で種子を過ごさせます。その後、秋から冬の低温の季節を経過する（休眠打破）ことにより、クリスマスローズの種子は発芽します。

なお、種子は、ある程度の水分がないと、高温も低温も感じないので、土の中で、適度な水分状態に保ちながら、気長に発芽を待ちます。

早く発芽させようとして、高温で過ごす期間を仮に2ヶ月、その後、低温に遭遇させようとしても、播種の時期はまだ夏日の高温が続いたりして根を傷めたり、種を腐らせたりします。また、発芽した後、双葉が発生する頃に、冬季の低温が苗の生育を大きく抑制します。

したがって、自然状態でじっくり発芽させることが最も安全で、2年目になれば初花が見られるようになります。クリスマスローズの種をまく場合にはこれら自然の摂理を十分理解の上、種をまいて花を咲かせてください。

種子が残った場合は、密閉容器に乾燥剤を入れ、冷蔵庫（5℃）で貯蔵します。乾燥と低温で種子は休眠状態になることから、1年は持ちます。



ステップアップ研修に参加して

花と緑の銀行富山支店 大久保地方銀行

グリーンキーパー 山本 俊雄

グリーンキーパーとして活動して早や8年になります。当地では大沢野花と緑の活動推進協議会に属し、約100名の会員が各地の運動公園、サルビア園、維持管理業務受託花壇等の整備活動をしております。

そのほかに、各自、自分の自治会の活動があります。また、皆さんご存じのことと思いますが、富山市立大久保小学校へは春から秋まで、グリーンキーパー数人で出かけ、子供達と土づくりから始め、花壇作りに一生懸命頑張っております。今では、県の花のまちづくりコンクール最優秀賞を初めとして、沢山の賞をいただき、昨年は日本一にもなり内閣総理大臣賞までもいただきました。

そんな中、役所からステップアップ研修に出ないかと言う話があり、ステップアップと言えかなり難しい研修かと思いつつも、一つ返事で出させていただきました。

一日目、二階の教室に行った時は大変緊張しました。自己紹介も終わり、松本美枝子先生の「土作りの基礎知識」の話、そして、チッソ、リン、カリなど、私の知りたい事ばかりでした。その後、pH及びEC測定。自分の所の土を持ってきてブックpH試験紙で確認して石灰散布の基準を見ました。今も自分の所の土を見るのにたいへん参考になっています。

三日目くらいから花壇設計。私のグループはテーマを「ふれあい花壇」と決め、ペゴニア、サルビア、カンナ、アンゲロニア等、11種類の花を植えました。



この他にも、神戸敏成先生から「栽培してはいけない植物」、「特定外来生物」の話、舘睦美先生から「コンテナガーデニング」、「苔玉」、「プリザーブドフラワー」の作り方を教えていただきました。さらに、福井県武生市の菊人形や石川県那谷寺の見学。やった事のない楽しみ、また、地方の社会見学など、気配りしていただいたことに感謝申し上げます。

月二回の集まりにも、皆さん先を争うように「自分の班の花がどうなっているのか?」、「他の班はどうか?」、楽しげな声が聞こえて来ます。その時こそ、子供に帰ったような気持ちで、ほんとうに楽しげでした。自分にとっては今までの花壇作りの続きのようでしたが、「人との和」が自分なりに「ステップアップしたのかなー」と思う気持ちでいっぱいです。

最後になりますが、今年の猛暑の中、毎日のように草花の様子を見ながら水やりをして下さった吉野さん初め、職員の皆様のお陰で、各班の花壇がすばらしい花壇になったこと、受講生一同になりかわり、深く感謝申し上げます。



平成25年度ステップアップ研修の受講を希望される方は、各支店（市町村担当課）までお問い合わせ下さい。受講者決定は3月下旬を予定しています。 ※研修内容は「花壇管理の基礎」を中心に実施します。



私達の地域に、1株でも多くの花を！

花と緑の銀行高岡支店 佐野地方銀行
頭取 中川 重 男

平成6年に私の住む泉が丘自治会の花と緑の世話役を引き受けてから、地域の公園をきれいに、公園内の桜の木を元気にとの思いで活動を続けてきました。特に、平成17年にグリーンキーパーに就任してからは花と緑の銀行のステップアップ研修、さくら守養成講座等を受講し、知識と技術の習得に努めてきました。

そして、平成23年に佐野地区花と緑の地方銀行頭取、花と緑の推進協議会長に推薦された際に、「地域の公共の場や各家庭に1株でも多くの花を！」という思いでお受けしたことが思い起こされます。

私達の地域には佐野地区花の愛好会（会員22名）があり、地域内の花壇づくりや花植えなどのお手伝いをしております。地元の自治会や公民館はもとより、R156号沿いバス停、保育園、小・中学校、平成8年に全国都市緑化とやまフェアの主会場であったおとぎの森公園等に草花を植えており、地域の花いっぱい運動に積極的に参加しています。

また、当会では年間約25,000本の花苗を育てており、地域の花壇や住民に提供しております。

平成17年に、とやまさくら守養成講座を受講し、さくら守となり、平成23年より高岡地区代表幹事に就任しました。折角学んだ知識を活かし、何か桜のためになることを実践したいと思い、昨年「富山さくらの名所70選」に選定されている千保川沿いの桜、延長約4km、本数約430本の害虫防除、簡易な整枝剪定を会員とともにしています。

今後とも、花壇づくりやさくら守の活動を継続していくことで、より地域が花々で咲き誇ってくれるのではないかと願っています。



〈お知らせ〉

「花とみどり・クリスマスフェア」を開催しました

12月7日～9日まで富山県中央植物園において、「花とみどり・クリスマスフェア」を開催しました。たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。主な内容は……

- ・「黄色いシクラメン」(全国で育成された15種を一同に展示)
- ・花と緑の体験コーナー（寄せ植え、フラワーアレンジメントなど、約500名の参加）
- ・コンテナガーデンコンテスト（コンテナガーデン大賞：高岡支店西広谷地方銀行（応募総数20点））
- ・わたしの寄せ植え展（第1位：「星に願いを…」富山市 鈴木 純子（応募総数37点））
- ・100文字応援花（最優秀賞：富山市立神通碧小学校 4年 村田香恋（応募総数282点））
- ・花と緑のコンクール入賞作品展示（花と緑のポスター原画46点、標語13点）
- ・花の種・根の無料貸出し（県内各地から寄せられた種など、約70種、約3000袋の提供）



黄色いシクラメン



平成24年 フラワーアレンジメント



平成24年 私の寄せ植え(第1位)



平成24年 花の種・根の無料貸出し風景

表紙写真：「平成24年度コンテナガーデンコンクール」：コンテナガーデン大賞（高岡支店西広谷地方銀行）
裏表紙写真：「ヤドリギ」（赤実）：南砺市……写真提供 長谷川幹夫氏



「ヤドリギ」(赤実)：南砺市



花と緑の銀行だより 186号

発行日 平成25年1月

編集発行 公益財団法人 **花と緑の銀行**

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyonomori/>

再生紙を使用しています。